

学会企画シンポジウム 5

「粘り強さ」の諸相

——発達・社会・感情研究のクロスポイント——

- 企画・司会 : 鈴木雅之 (横浜国立大学)
企画・司会・話題提供 : 澤田匡人 (学習院女子大学)
妬みが紡ぐ粘り強さ
話題提供 : 石川萌子# (大阪大学)
乳幼児期の粘り強さ
話題提供 : 竹橋洋毅 (奈良女子大学)
社会的認知が支える粘り強さ
指定討論 : 畑野 快 (大阪公立大学)

企画趣旨：

一般的に「粘り強さ」と呼ばれる資質もしくは特性は、グリット (grit) のような学習成果や適応を首尾良いものとする非認知能力とも重なり、育成すべき心理学概念として幅広く注目を集めている。一方で、それらが個人の特性として強調されすぎる場合には、努力できない原因を本人の性格や資質に還元し、教育環境や社会的文脈の影響を見落とす危険性も孕んでいる。また、粘り強さを測定・育成する取り組みが学校・家庭・職場で広がる中で、これと類似した概念や感情との共通点や相違点、動機づけとの関係は、十分に整理されているとは言いがたい。そこで本シンポジウムでは、粘り強さを個人の特性としてだけでなく、発達・社会・感情の観点で交差する複合的プロセスとして捉え直す一助となる機会を提供したい。具体的には、粘り強さがどのように形成され、どのような経験や支援が奏功するのかについて、さまざまな知見を交えながら検討する。その際、粘り強さに類する感情である良性妬み (benign envy) との違いや、アイデンティティにまつわる生涯発達の視座も踏まえて、粘り強さとは何かを多角的に検討する。